

第3回 獅子吼ゴールデンカップ2010 大会レポート

2010. 10. 9(土) ~ 10. 10(日)

獅子吼ゴールデンカップ2010 実行委員会

第3回目となる獅子吼ゴールデンカップ2010ハンググライダー大会を開催しました。あいにくの雨模様の天候が続きましたが、二日目には雲間をぬって競技が実施され悪天候をたくみにかいくぐった獅子吼フライヤーの倉和彦選手が見事優勝。3年目にしてようやくゴールデンカップが地元にもたらされる事となりました。又、全国各地から訪れたフライヤーの皆様がウエルカムパーティで交流を深め、ほうらい祭り見物で白山市の伝統文化を堪能されました。



[総合成績]	優勝	倉和彦 (石川県)
	準優勝	北川利明 (富山県)
	3位	鈴木樹子 (岐阜県)
	4位	蛸崎隆 (三重県)
	5位	前田成人 (福井県)
	6位	清水茂雄 (石川県)

10月9日（土）雨

雨模様の中、8時頃から選手が集まり始め、スカイ獅子吼パラグライダースクールショップ内で受付を開始しました。地元北陸3県をはじめ、神奈川、三重等から昨年を上回る14名のハングフライヤーのエントリーとなりました。9時よりスカイ獅子吼パラグライダースクール内で開会式を行い、実行委員長 初瀬宋子から開会の挨拶のあと、白山市産業課の西本課長より祝辞をいただきました。



初瀬実行委員長による開会の挨拶



白山市産業課 西本課長ご祝辞

選手を代表して富山の北川利明選手より選手宣誓。金子競技委員長から競技内容、フライトエリアルール等についての説明後、本日の競技についてのブリーフィングが行われました。天気予報は終日雨となっているので本日の競技はキャンセルとする方向で選手の同意を得て開会式が終了しました。その後、ハンググライダー普及委員会で活動している鈴木樹子さんからハンググライダー普及委員会の活動方針と活動内容の紹介を頂き、最新のハンググライダー練習方法の動画等を交えて情報交換会を実施しました。



北川利明さんによる選手宣誓



ハンググライダー普及委員会

5時からは協議会ハウス（旧ハング保管庫）で参加者の懇親会を行いました。金子競技委員長の乾杯で、お寿司・オードブル・手作りの豚汁を肴に、情報交換や明日のフライトなどについておおいに話の輪が広がりました。また、飛び入りで大道芸人ボビーさんによる風船芸やジャグリング芸が披露され大いに盛り上がりました。



懇親会



大道芸人ボビーさん

8時には一旦中締めとなり、ここから送迎車に分乗して鶴来町へ繰出しお祭り見物に向かいました。ふるまい酒をいただきながら再び話しに花が咲きました。9時過ぎになって、神輿・獅子舞・造り物が通りを飾り、見物の後帰路につきました。

10月10日（日）曇り時々雨 西の風4mから6m

午前中から夕方まで曇りの予報。フライトのチャンスありと判断して全員グライダーを搭載した車に分乗して山頂のテイクオフへ上がりました。テイクオフに上がると曇り空の隙間からたまに青空が見える状態。風の向き・強さは申し分ないので競技を開始。テイクオフ周辺に一斉にハンググライダーが広がります。まずは金子競技委員長によるウインドダミーがテイクオフ。テイクオフ前のガスを交わしながら獅子吼周辺でフライトし無事に着陸しました。



続いて選手が鈴木さん(三重)、倉さん(石川)、蛭崎さん(三重)、北川さん(富山)の順に離陸。鈴木さん(三重)、倉さん(石川)は早々にランディングし倉さん(石川)は見事な着地を決めて937点のトップへ。北川さん、蛭崎さんはたつぷりと獅子吼の空を堪能した結果、雨にたたられランディング。ここで天候が悪化しテイクオフ周辺の雲底が低下し離陸できない状態となってしまいました。競技終了予定時刻の午後3時となり9名がフライト出来ないまま競技終了となりました。



見事なランディングを決めた倉さん



獅子吼の空を堪能した蛭崎さん



いつも安定した飛びを見せる鈴木さん



5機フライト後に天候が悪化

フライト競技としてはハングライダーでフライトする事が出来た4名が上位となりましたが残念ながらフライト出来なかった9名の皆様の為にゲーム(ハンドランチ競技)を実施して頂きました。ハンドランチ競技とは模型飛行機をゴムで飛ばし飛行距離を競い合うものでランディング場のターゲット中心から発進し着地点までの距離を計測して順位付けを行います。ここでも地元フライヤーが大健闘し福井の前田成人さんが12mの最長記録でトップへ。中には0.1mの極小記録も生まれゲームは大いに盛り上がりました。



細川さん



倉上さん

優勝は華麗なランディングを決めた地元石川県の倉和彦選手が初優勝。賞状、優勝獅子頭トロフィ、賞金3万円、デザートスポーツウェア、そしてハング代理店バーズアイビューからの協賛品のスポーツサングラスなどを賞品として初瀬実行委員長から授与しました。準優勝は地元富山の北川敏明選手、選手宣誓の通り悪天候をものともしない力強いフライトを行い入賞、賞状、賞金2万円並びに同様の賞品を授与しました。3位は女性パイロット兼インストラクターで、3年連続参加していただいた鈴木樹子選手（岐阜県）が安定したランディングで高得点を得て上位となりました。

閉会式では、初瀬実行委員長より競技が無事終了したお礼の挨拶、金子競技委員長から引き続き来年も選手の皆様が楽しく集うことを願って、閉会式も終了し、全員で記念撮影を行いました。



初優勝 倉和彦さん(石川)



準優勝 北川利明さん(富山)



3位 鈴木樹子さん



4位 蛭崎 隆さん

第3回獅子吼ゴールデンカップが白山市やパーク獅子吼・スカイ獅子吼様のご協力を得て速やかに競技が滞りなく進行し無事終了できましたことに感謝申し上げます。大会実行委員一同これからもスカイスポーツの普及と地域の振興に微力ながら寄与できますよう努めてまいりますので、地元関係者の皆様には引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

以上